

家庭発展特別授業 「フランスの生活文化」

10月26日(水)、公益財団法人大阪府国際交流財団(O F I X)より、ゼリア ボドリさんにお越し頂き、フランスの生活文化についての講義をしていただきました。

日本に住んで十数年になるゼリアさんに日本との違いなども交え、フランスの食文化や住環境、教育制度、行事、宗教など、多岐にわたる内容をクイズ形式なども交えながら、とてもわかりやすく教えていただき、最後には簡単なフランス語レッスンをして頂きました。



高校でバカロレア(高校卒業証明にあたる試験)にパスすれば、大学(すべて公立)が手数料程度でほぼ無料ときき、受験生である生徒達は羨ましそうでした。ただし、入学時の人数から年々1/2、1/4、1/8...と学生は減っていき、卒業するのは大変難しいそうです。



フランスに行っても、食べ物が買えます! ゼリア先生にお墨付きをいただきました。

昼食はどっち? ↑ 答: ①
お昼に肉や魚などをしっかり。昼食休憩も1時間半から2時間とゆったりと。そして夜は軽くとのこと。



バゲット(左上)は意外と歴史が浅く、パンドカンパーニュ(右下)が伝統的なパンで、昔は村共通の窯を使い、1週間分焼いていたそうです。日が経ち、固くなったものを pain perdu(パン・ペルデュ)=フレンチトーストにします。

事前学習として先週の授業でフランス料理を作りました。
～ムニエル・ラタトゥイユ・ブイヤベース・ブラマンジェ・バゲット・紅茶(アールグレイ)～